

地域医療

対策室

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
05010080	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立	担当課	地域医療対策室	
事業名	広域紋別病院企業団運営事業			関係課	健康推進課
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	広域紋別病院事業団（雄武町他西紋4市町村）		国保病院・老健施設
事業指標	西紋別地区における二次医療機関の確保施設数			数値目標	1施設

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
本町が属する二次医療圏である遠紋医療圏のうち、西紋地区における二次医療機関となる広域紋別病院の運営主体である広域紋別病院企業団の運営経費及び職員の児童手当経費を、西紋別地区5市町村が共同で負担する。			・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担	
			年度別数値目標		1施設		1施設		1施設		1施設	
財 源 内 訳	計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費	
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	10,000	1,408		2,000	1,408	2,000		2,000		2,000	
合計(千円)		10,000	1,408		2,000	1,408	2,000	0	2,000	0	2,000	0
特 定 財 源	評価・実績		実施内容		広域紋別企業団に対する負担金の支出							
			評価結果									

事業名	広域紋別病院企業団運営事業	評価者 管理職 職氏名	地域医療対策室長	武藤 知憲
		評価者 作成者 職氏名	地域医療対策室長	武藤 知憲

令和5年度実施  
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	二次医療、二次救急を必要とする町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	広域紋別病院の運営に対する財政支援	
抱える課題やニーズ	二次医療、二次救急を必要とする疾病や事故に対する医療を日常生活圏域で受けることができる体制が必要であると認識しています。	指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか（意図）	町内医療機関では判断や治療が困難な疾病や事故等に対し、適切な医療を受けることができ、相互に緊密な医療連携を行うことを目指しています。	① 広域紋別企業団に対する運営経費等の負担	目標年度	令和5年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	日常生活圏域近郊で、適切な機能分化と質の高い医療の提供、患者に一貫性のある良質な医療を提供できる体制を確立するとともに、二次医療、二次救急を受けることができ、救命率の向上や高度障害を未然に防ぐことができることを目的としています。	②	目標値	1施設
内容（どのような手段で何を行ったか）	広域紋別病院の運営主体である広域紋別企業団運営費の負担	企業団運営にあたる西紋5市町村での按分に基づき、議会、監査経費及び職員児童手当の地方交付税相当額分の経費負担	実績値	1施設
			達成度	100%
			目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	

■事務事業の評価（Check）

(1) 事務事業の必要性（町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	広域紋別病院企業団は西紋5市町村をもって構成しており、運営に係る経費負担は義務的なものであると認識しています。
必要／概ね必要		<input checked="" type="checkbox"/> 全部	
／課題あり		<input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	広域紋別病院の運営により西紋地区の二次医療、救急医療体制が維持できており、期待する効果は得られていると認識しています。
有効／概ね有効		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
／課題あり		<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	広域運営のため、西紋地区5市町村で按分するなど事業費に対する負担は適切に負担割合が区分されており、コストに見合った効果が得られていると認識しています。
効率的／概ね効率的		<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
／課題あり		<input type="checkbox"/> 人員削減	
		<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	二次医療、救急医療体制の確保ができていること、眼科、産婦人科等の専門外来を必要とする場合や特定感染症発症時等は町民が広域紋別病院を利用することができることから公平性は確保されていると認識しています。
公平／概ね公平		<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
／公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
本事業により、広域紋別病院の運営に寄与することができており、町民が必要とする専門医療を受けることが可能となっていることから、今後も計画通り事業を進めることが適当であります。		

今後の展開方向  
(Action)



継続／現状維持		
今後も二次医療、救急体制維持のために西紋5市町村での連携が必要であると認識しています。		

※展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
05010110	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	C	政策的に実施すべき事業であるが、今後の動向等に調査を要する事業
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	地域医療環境整備事業			担当課	地域医療対策室
事業期間	令和5年度～令和6年度	事業主体	雄武町	関係課	健康推進課・地域包括支援センター
事業指標	地域医療確立のために必要なる環境整備に関する各種調査・検討件数			数値目標	1件

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
本町における持続可能な医療提供体制の確立や地域包括ケアの実現に向けた環境整備に必要な制度等について調査・検討を行う。			各種調査・検討		各種調査・検討								
			年度別数値目標		1件		1件						
			計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
財源内訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	0	0										
合計(千円)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定財源			評価・実績	実施内容		町内医療機関及び歯科医院に対するヒアリング実施（課題抽出）							
				評価結果		A - 継続 / 現状維持							

事業名	地域医療環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	地域医療対策室長	武藤 知憲
		評価者 作成者 職氏名	地域医療対策室長	武藤 知憲

令和5年度実施  
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	医療提供を求める町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町内医療機関に対するヒアリングの実施 (課題抽出)								
抱える課題やニーズ	町内の持続可能な医療提供体制の確立及び地域包括ケアの実現に向けた環境整備	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	町内医療機関や歯科医院の持続的な存続	① 町内医療機関に対するヒアリングの実施施設数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値	2施設	実績値	2施設	達成度	100%
目標年度	令和5年度										
目標値	2施設										
実績値	2施設										
達成度	100%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民が安心して、生活できる医療体制の構築	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	ヒアリングの実施	令和5年11月、同年12月、令和6年3月の3回に分けて、町内医療機関等に対するヒアリングを実施。									

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町内医療機関の持続的な存続を推進するためには、町が担う必要があると判断しています。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町内医療機関に対するヒアリングを実施したことで課題の抽出を行うことができていることから、期待する効果が得られていると判断しています。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	ゼロ予算の事業であり、今後の事業展開を検討するためのヒアリングであったことからコストに見合った効果は十分に得られていると判断しています。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	医療機関にて診療を受ける場合は、受益者負担は発生しますが、公平性は保たれているものと判断しています。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
課題抽出ができ、今後は事業化に向けて検討を行うこととしている。計画通り事業が進んでおり、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断しています。		

今後の展開方向 (Action)



継続/現状維持		
課題に対応した先進地事例を参考に、事業化に向けて検討を進めていく必要があると判断しています。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止